



会場のリノ・ヒルトン・ホテル



Associate Fellow Dinner での授与式

## AIAA TCCS, IAC 及び 43rd Aerospace Sciences Meeting に出席して

NICT/JFSC 飯田尚志

AIAA の TCCS (Technical Committee on Communications System)会議, IAC(International Activities Committee)会議および 43rd Aerospace Sciences Meeting が 2005 年 1 月 10 日から 13 日にかけて、ネバダ州リノ市の Reno Hilton Hotel で開催された。リノは記録的な大雪で、到着の前日は空港が閉鎖されていたそうであるが、私は幸い無事到着することができた。滞在していた 6 日間に雪はそう大したことはなかったが、気温は低く、最高華氏 35 度、最低華氏 5 度位だったようである。

TCCS は 1 月 10 日午前 9 時から午後 2 時過ぎにかけて開催され、Butash 委員長、Houston 副委員長はじめ私を含めて 8 名が参加し、同時に電話会議に Ashford 氏、Helm 氏はじめ 14 名が参加した。議事を左表に示す。2.C 項の ICSSC の活性化については提案者が欠席で議論はできなかった。開催の仕方の引き継ぎを十分に行うため、副委員長を次回の委員長とすることが提案されたが、むしろ Technical Program Chair を介して引き継いだ方がいいという意見も出された。ただ、ICSSC-2005 は Ka バンド会議と、同 2006 は政策関連発表を主とする ISCe (International Satellite & Communications Conference and Expo)と、同 2007 は、JFSC の提案であるが、APSCC (Asia Pacific Satellite Communications Council) と、同 2008 は InfoTech@Aerospace Conference と共催とすることで、より多くの参加者を得ようとしているようである。しかし、InfoTech との共催については InfoTech のテーマが ICSSC と重なる部分があるため、Butash 委員長は ICSSC は 22 回開催の歴史があり、この財産を大切にしていきたいということを強調していた。また、2005 年の開催手順の詳細が詰められているようで、2007 年のやり方の参考になると思われた。私からは、JFSC の最近の活動と ICSSC-2007 の開催準備、特に APSCC との共催の状況について説明した。以後、

### Agenda Item

1. Introductions
2. TCCS Subcommittee Reports
  - A. Steering
    - Membership News and Concerns
  - B. Awards
  - C. ICSSC Re-Vitalization Notes
  - D. Japan Forum
  - E. Publications
  - F. Conference Subcommittees
    1. ICSSC-2005, Rome, Italy
    2. ICSSC-2006, San Diego, CA
    3. ICSSC-2007, Seoul, South Korea
    4. ICSSC-2008 Potential Joint Conference with AIAA InfoTech@Aerospace
3. TCCS Any Other Business / Plan Next Meeting
4. ICSSC-2005 Planning Meeting
  - Planning Status
5. Adjourn

昼食を取りつつ ICSSC-2005 について更にディスカッションを行った。次回は4月第3週ワシントン,DCで開催予定である。

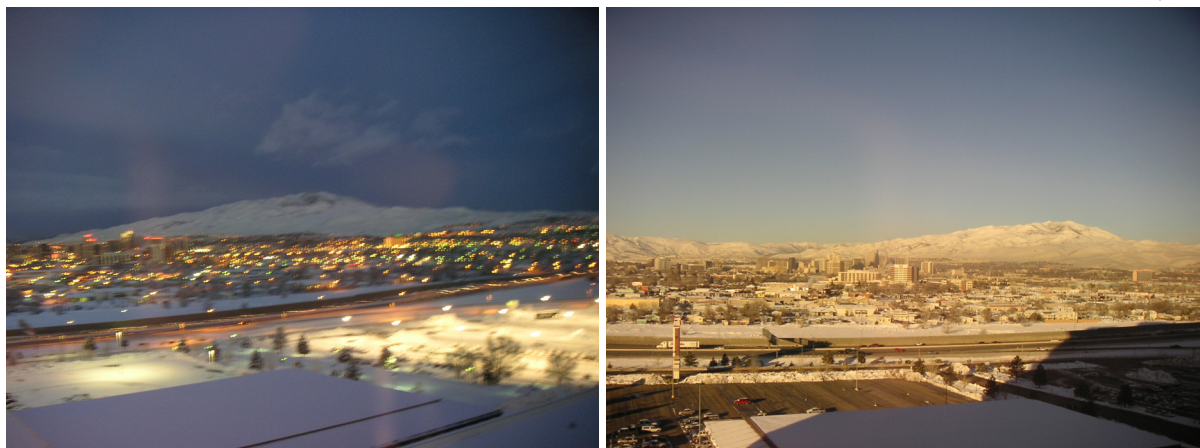
IAC会議は1月13日午後開催された。この会議には委員長 Zimmerman氏 (President, International Space Services, Inc.)はじめ20名程が出席した。やはりテレコンも行われ、数名が参加した。最後に、次期委員長としてBoles氏 (General Manager, Adv. Tech. Div., Aerospace Corp.)が紹介された。私は、この会議でJFSCの活動について報告した。いつもお世話になっているAIAA事務局のAngelo Iasiello氏及び Megan Sheidtさんには感謝する。

AIAA 43rd Aerospace Sciences Meetingは1月10日から13日まで開催された(実際には、このミーティングに合わせてTCCS, IAC等の各種のAIAA委員会会議が150程開催されるものである)。本ミーティングはAIAAとしては最大級の会議で、2000名を超える人々が参加した。内容は航空宇宙に関するすべてのことが含まれ、約180のセッションで約1500件の論文が発表された。大きな展示も行われていた。このミーティングでは著名な学者の名が冠せられた特別講義が3つあり、聴講しました。特に von Karman Lectureship in Astronauticsと名付けられた講義では、Aerospace CorporationのCEOのBallhaus博士による”Success and Challenges in Transforming National-Security Space”という講義が大変印象に残った。内容は、米軍の宇宙開発の話であるが、1990年代の米国の宇宙開発は、ミッション成功よりもコストを第1と考えて行われた結果、失敗が相次いだため、最近ではミッション第1にシフトしていこうとしているというものであった。我が国にも当てはまるような気がする。本ミーティングでは Associate Fellow となった方々に賞を授与するための Associate Fellow Dinnerと各種の賞を授与するための Award Luncheon が開催された。

以上で会議の報告は終わるが、リノといえば、カジノである。ホテルの1階ロビーはカジノになっているが、スロットではあっという間にお金がなくなってしまうし、その他の賭は観ていてもよく分からないというのが正直なところである。ところで、今回はリノはもの凄く寒く、雪が積もっていたと書いたが、Associate Fellow Dinnerで隣に着席していたリノ在住の夫妻によると、ここ数日の大雪にはリノの人もびっくりしているということであった。しかし、お陰でホテルの部屋からはすごく綺麗なシエラネバダと覚しき雪山が見えた。シエラネバダと言えば、昔の西部劇映画によく出てくる名前のようで懐かしい感じがした。最後に1句:

雪山の 麓に光る カジノの灯

以上。



ホテルからダウンタウンの方角を望む(左:日の出前の風景, 右:日の出後の風景)